

●あし JR名古屋駅から新幹線、北陸線を乗り継ぎ、敦賀駅まで約1時間40分。敦賀駅からJR小浜線で三方駅まで約30分。  
 ●問い合わせ 若狭三方五湖観光協会 ☎0770・45・0113。  
<http://www.yomiuri.co.jp/tabi/>

# 旅

TABI

(金曜日掲載)

## 三方五湖 (福井)

山梨が初任地だったこともあり、富士五湖には何度も出かけたが、こちらの五湖は知らずにいた。知人に教えられて地図を開くと、富士山のふもとの五湖とは対照的に、海のそば。しかも東西、南北ともに5〜6km程度の狭い地域に湖が集まっている。複雑

## 多彩な水面 魚介の宝庫

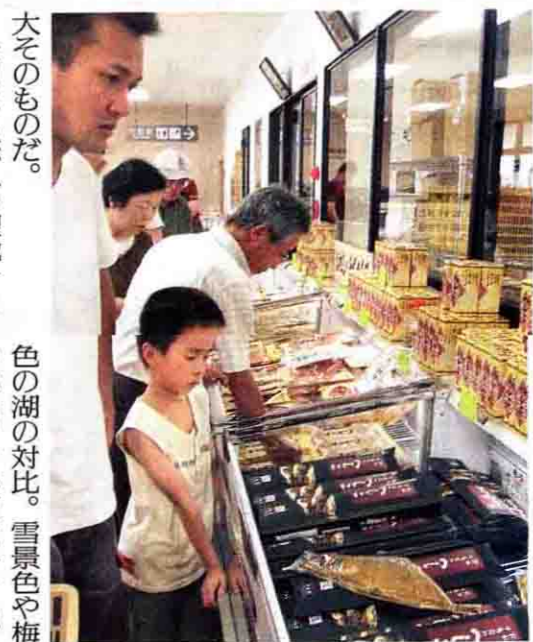
な地形が織りなす景観と、湖や海の幸を目当てに、若狭路に向かった。オバマ米大統領誕生で注目を集めた小浜市へ至るJR小浜線を三方駅で下車。タクシーで有料道路「レインボーライン」に入ると、運転手さんの案内に思わず耳を疑う。山道を上りながら「左が日本海。右が湖」と教えられたかと思うと、

次は反対。前にも後ろにも湖が出没する。これじゃあ、三方どころか四方が湖じゃないか。湖、海、山が入り組んだ地形に方向感覚を失った。

湖によって塩分濃度が異なり、夕暮れ時は湖面が色とりどりに輝くという説明にうなずくうちに到着したのは、レインボーラインの途中にある梅丈岳(標高395m)。ケーブルカーに乗ると、見晴らしの良い山頂公園に出た。あいにくの曇り空だが、五つの湖が眼下に広がるパノラマは雄



「恋人の聖地」として名高い山頂公園には永遠の愛を誓う鍵がズバリ



サバ、イワシ、フグなどのぬか漬けが並び、観光客でにぎわう「美浜へし館」

大なものだ。公園は「恋人の聖地」としても名高い。二人でロクックすれば永遠の愛が成就するという「誓いの鍵」が至る所にかけられている。訪れたのは、ちょうど土用の丑の日。京都から彼氏と一緒に名物のウナギを食べに来た加茂直美さん(38)は、「次に来た時、分からへんから」と、目印の5円玉の穴に通して鍵をかけた。ご縁も、さぞ深いことだろう。

恋には長らく縁のない記者は山を下り、水月湖畔の温泉宿へ。全室オーシャンビューならぬレイクビュー

。雨が降り出し、期待した夕暮れは見られなかったが、霧にけぐる湖も風情たっぷりだ。夕食はスズキの天ぷら、翌日の朝食はシジミのみそ汁と、湖で取れた食材が舌を楽ませてくれた。

宿を営む山口正一さん(62)は「荒々しい日本海と穏やかな五

色の湖の対比。雪景色や梅の花など、春夏秋冬それぞれに楽しめる」と、三方五湖の魅力語る。秋以降はハゼ釣り、冬場はフグやカニを楽しみに関東から訪れるリピーターが多いという。

翌日は久々子湖畔のレイクセンターから、四つの湖を巡るジェットクルーズに乗船。海水と淡水が混ざった同湖や水月湖から淡水の三方湖まで、変化に富んだ湖面を約1時間かけて巡る。昼食は前日のカップルに話を聞いた時から気になっていたウナギと決めていたが、どこも超満員。仕方なく、オープンしたばかりという「美浜へし館」に足を延ばした。

へしこは若狭名物の魚のぬか漬。強く圧迫するといふ意味の「へし」と「ざこ(雑魚)」が一緒になった言葉だという。サバ、イワシ、フグ……と並ぶ中から、サバのへしこ入りのお握りを買って、帰り道にほお張る。塩辛さと、ほのかな甘みが口いっぱい広がった。

(多葉田聡、写真も)  
 (来週はトルコ・エディルネ)